

子どもの健やかな成長を願う 「下妻市子ども・子育て会議」を設置

市では、平成24年8月に成立した「子ども・子育て関連3法」に基づき、幼児期の学校教育・保育や地域での子育て支援を総合的に推進するため、「下妻市子ども・子育て会議」を設置し、第1回の会議を3月7日、市役所本庁舎で開催しました。

会議の委員は、子どもの保護者、保育園・幼稚園等の子育て関係事業者、学識経験者、関係行政機関の職員など18名で組織。会長には子ども会育成連合会会長の内山州彦さんが選出され、「委員の皆さんの活発な意見を取り入れて新制度の計画に生かしていきたい」と会長就任のあいさつがありました。

今回の会議では、平成25年10月から11月にかけて実施した「子育て支援に関するアンケート調査」の結果を基に、子育て環境の市民のニーズを踏まえた上で「下妻市子ども・子育て支援事業計画」策定の準備を進めるなど、平成27年度に本格スタートする予定の新制度に向けた議論が行われました。



地域の子育てを一層充実させる議論がスタートしました

適正で効率的な行政運営の確保

監査委員の選任

平成26年第1回市議会定例会において、増田省吾さん（小島）を議会選出監査委員に選任することが同意されました。

監査委員は、公正な立場で、市関係機関の財務に関する事務が適正かつ効率的に行われているかを監査します。



増田 省吾さん
(小島)

いざという時に地域で備える 「ホース格納箱」の整備

市では、地域での火災発生に備えて消火栓の近くに設置する「ホース格納箱」の整備を進めるため、自主防災組織が行う資機材整備費用の一部助成を行っています。

「ホース格納箱」は、中に消火用ホースや放水用ノズル、消火栓の蓋を開ける金具などを入れた赤い箱で、今年あった火災の中で、ホース格納箱の器具類を使った消火栓からの放水で初期消火を行い、大火に至らずに済んだ事例がありました。

この助成を利用して下妻地区では初めてホース格納箱を設置した不動宿自主防災会は3月9日、下妻消防署の指導のもと、ホース格納箱を使った消火栓使用訓練を実施し、地域住民25人が放水などを体験しました。

今後も、市では地域で備える防災活動や自主防災組織の設立などを支援していきます。



消防署員の指導で放水を体験する地域住民
(不動宿自主防災会)

縦90cm×幅60cm
×奥行30cm

下妻市消防団第1分団第2部の 消防団詰所を移転新築

下妻市消防団第1分団第2部の消防団詰所の老朽化に伴い、下妻小学校前から下妻一高南側（下妻駅前通り沿い）に移転新築され、3月19日に引渡式が行われました。

新しい消防団詰所は、鉄骨造2階建て延べ床面積65平方メートル。同敷地内には電動式ホース乾燥塔も新たに整備されました。

引渡式で、司代直樹第1分団長は「広くなった消防団詰所で、消防団員の集まりや緊急時の出動もスムーズに対応できます。市民の皆さまの安心安全を守るため、これからも日々努力、精進していきます」と力強く語りました。設備、機能が拡充された新消防団詰所



蚕飼小学校124年の歴史に幕 閉校式・感謝の集い

蚕飼小学校の閉校式・感謝の集いが3月22日、「さようなら蚕飼小」と手づくりのスタンドグラス風のパネルが掲げられた同校体育館で行われました。

式典には、児童のほか、保護者や卒業生、地域の皆さん、歴代の教職員など297人が出席。稲葉市長は式辞の中で、「旧千代川村当時から児童数の確保を図るため、村内の全小学校から入学できる特認校制度や、やすらぎの里整備事業によるリフレこかいの建設。」A常総ひかり



蚕飼小学校での最後の合奏を披露する児童。一人一人が力強く発表しました

の特定優良賃貸住宅建設、周辺地域の道路整備による定住化政策等を実施してきた。しかしながら、このような施策を講じながらも、少子高齢化という児童数の減少には歯止めがかからず、複式学級の解消には至らなかった。断腸の思いで閉校式を迎える」と述べ、児童には「新しい学校に不安はあると思いますが、多くの子どもたちと、勉学、スポーツ、遊びなど切磋琢磨しながら楽しい学校生活を送っていただきたい」と激励しました。

また、枝校長は、保護者や地域の皆さんに支えられ、ともに歩んできた学校運営に感謝の言葉を述べ、児童には校歌の一節を用いて「希望に胸をはらずせて、みんな仲良く学びましょう」とエールを送りました。

閉校式に続いて行われた感謝の集いでは、永い歴史をつづった記念DVDの映像が映し出されると、会場からは「わー、なつかしい」と声上がり、涙する人も見受けられました。最後には全校生徒38人による「蚕飼小ありがとうメドレー」と題した合奏と合唱、呼びかけが披露され、「いつも優しく見守ってくれた蚕飼小学校、ありがとう。さようなら」と声をそろえて力強く発表すると、会場からは大きな拍手が送られていました。

行政改革の進捗状況をお知らせします

市では現在、平成23年度に策定した「第4次下妻市行政改革プラン2011-2015」に基づき、行政改革に取り組んでいます。

このほど、平成24年度末の行政改革の進捗状況の取りまとめが完了し、市民の代表により構成される行政改革懇談会にて進捗状況の報告をしました。

平成24年度の主な取組【抜粋】

【多様な研修機会の充実】

庁内での職員研修や研修所等への派遣研修を計画し、公募又は推薦により職員研修を実施した。

【有料広告の推進】

広報しもつまや市公式ホームページで有料広告を募集し、自主財源の確保と地域産業の振興を図った。

広告掲載件数：20件 広告掲載料収入：1,155,000円



市民代表により審議される行政改革懇談会（3月19日）

【企業誘致による財源確保】

茨城県や県開発公社等と連携し、企業誘致活動を継続して実施中である。平成24年度末には市内で3社の工場建設工事が進められている。

【備品を購入する前のシステム検索】

在庫品を効率的に使用するとともに、必要に応じてシステム検索により他課の備品を有効利用した。

【花の街づくり推進事業の推進】

15団体により16か所1,730㎡の緑地帯等の維持管理を行った。「花のまちしもつま」をPRし、市のイメージアップを図るとともに、市民の環境美化意識の向上にもつながった。

評価基準と平成24年度取組状況

区分	件数	比率(%)
A：大変順調に進行できている	40	47.1
B：おおむね順調に進行している	41	48.2
C：やや順調ではない	4	4.7
D：まったく順調ではない	0	0.0
合計	85	-

※報告書の詳しい内容は、市ホームページで公開しています。また、企画課企画調整係(本庁舎2階)窓口でも閲覧できます。

問い合わせ 企画課 ☎内線1216

有料広告欄

有料広告欄

有料広告欄

有料広告欄